大学等名:東京薬科大学

テーマ : テーマ V (卒業時における質保証の取組の強化)

事業概要 1. 卒業コンピテンス・コンピテンシー導入によるアウトカム重視教育と評価、2. 質向上を目的とした研修(FD·SD)の実施、3. 成績評価に係 る教員評価の導入、4. 卒業論文研究を活用したディプロマ・サプリメント(仮称)の作成により、卒業論文研究の質的評価法とそのフィードバック法を開 発し、さらに特色ある卒業論文研究が卒業後の学生のスキル向上や社会貢献にどのように関っているか提示することを、目標とする。

**卒業生調査** 〇卒業生にヒアリング調査。〇平成29年度は、全数調査 ○我が国の薬学・生命科学部卒業生の情報解析の基礎資料ともなる。○ 「卒業コンピテンス・コンピテンシー」に反映させる。OPDCAサイクルへの 活用。

社会

外部評価 委員会

Р

卒業論文研究を活用したディプロマ・サプリメ ント(仮称)の作成

○卒業論文及び研究に、標準化したルーブリックを用 いた評価を行う。〇卒業生には、ディプロマ・サプリメ ント(仮称)を、大学が発行。

建学の精神・理念 DP 学則に定める目的 社会の要請 薬学教育コアカリ 薬剤師基本的な資質 (薬学部) (薬学部)

○卒業コンピテンス:「学則及びディプロマ・ポ リシー等を踏まえ、本学卒業生が身に付ける

体化し、知識の応用や実践力のレベルに応じ

べき知識、技能、態度を包含する実践力」 ○卒業コンピテンシー:「卒業コンピテンスを具

て科目と結び付けて観察可能な能力」

本学における語の定義

「卒業コンピテンス・コンピテンシー」導入によるア

ウトカム重視教育と評価

○薬学部・生命科学部ごとに新たに設定し、専門分野 に配慮した、アウトカムに基づいた教育へ

○科目ごとに、卒業コンピテンス・コンピテンシーにより 単位認定の要件を、段階的に明確化

OH30年度薬学部、H31年度生命科学部に導入

○本学卒業生の質保証ともなる

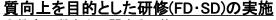
〇キャリア教育・初年次教育との連携

専門分野に配慮した、アウトカムに基づいた教育 と評価の実践により、社会的に求められる卒業コ ンピテンス・コンピテンシーを持つ社会人(薬剤 師・技術者・研究開発従事者)育成へ

D

成績評価に係る教員評価の導入

〇成績評価・教育の質向上の一層の促進



〇教育の質向上に関する研修

- 〇学生FDとの連携による教育の質向上
- 〇キャリアへの意識を育成する、教職協働のSD開発

## 卒業生調査・在学生調査

〇卒業時の進路等調査を定期的に実施 〇毎年度の学修行動に係る情報を調査

○IR組織等で検討し内部評価にも活用

~					
【事業の成果】	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	31年度 (目標値)	
学生の授業外学修時間(1週間当たり)	薬12.1時間 生6.3時間	薬13.8時間 生7.5時間	薬15.5時間 生8.5時間	薬19.0時間 生12.0時間	
卒業生追跡調査の実施率(調査回答者 数/卒業者数)	98%	99%	99%	99%	
卒業論文研究のルーブリック評価実施率	0%	5%	30%	100%	

- 本事業を実施することにより、本学はよりラーニング アウトカムを重視した教育を推進し、本学の三つの方 針、特にディプロマ・ポリシーを実質化することができ
- 本事業を実施することにより、学生には勉強しがい のある大学、教職員には働きがいのある大学、社会 には必要とされる大学となる。

